



平成26年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年4月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 マルマエ

コード番号 6264 URL <http://www.marumae.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 前田 俊一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 藤山 敏久

TEL 0996-64-2900

四半期報告書提出予定日 平成26年4月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年8月期第2四半期の業績(平成25年9月1日～平成26年2月28日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年8月期第2四半期	701	20.0	109	36.6	103	18.8	112	30.8
25年8月期第2四半期	584	△6.2	80	35.2	87	96.6	85	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年8月期第2四半期	64.39	45.62
25年8月期第2四半期	49.22	—

当社は、平成26年3月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年8月期第2四半期	1,640	205	12.5
25年8月期	1,660	93	5.6

(参考)自己資本 26年8月期第2四半期 205百万円 25年8月期 93百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年8月期	—	0.00	—	—	—
26年8月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年8月期の業績予想(平成25年9月1日～平成26年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,350	16.1	120	△5.3	105	△18.3	112	36.8	64.19

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年8月期2Q	18,540 株	25年8月期	18,540 株
26年8月期2Q	1,094 株	25年8月期	1,094 株
26年8月期2Q	17,446 株	25年8月期2Q	17,446 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると断定する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第 2 四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、海外景気の下振れが景気を下押しするリスクが残る一方で、消費税率引上げに伴う駆け込み需要が強まり、各種政策の効果が下支えするなかで、輸出は横ばいとなっているものの、企業収益や雇用情勢及び企業の業況判断は改善し、景気は緩やかに回復しました。

当社の主な販売分野であるFPD業界におきましては、テレビ向けの液晶パネルに関連する大型液晶パネルの需要停滞にくわえて、スマートフォンやタブレットPC向けの中小型液晶パネルの設備投資も低調に推移しました。半導体業界におきましては、PC需要に加えてFAシステムやパワー半導体等幅広い分野向けに需要は広がりを見せ着実な回復基調にあります。

当社は、このような経済状況のもと、FPD分野では独自技術を生かし、液晶製造装置メーカーからの真空装置部品を中心に受注を獲得しました。半導体分野では、需要拡大が続くなか、既存顧客からの受注品種拡大に注力し一定の成果を上げました。また、半導体市場の拡大傾向に合わせて生産体制の整備と強化を図っております。その他分野では、新規に光学関連の装置メーカーとの取引を開始し大口案件を獲得いたしました。損益面では、受注品種の変化により、材料費と外注費が増加するなか、生産性向上と売上高の増加により営業利益は前年同期を大きく上回りました。なお、特別利益として補助金収入を10百万円計上しました。

この結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高が701百万円(前年同期比20.0%増)、営業利益は109百万円(前年同期比36.6%増)、経常利益は103百万円(前年同期比18.8%増)、四半期純利益は112百万円(前年同期比30.8%増)となりました。

なお、当社は精密切削加工事業のみの単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び資産の状況

(資産)

前事業年度末に比べ、19百万円減少し1,640百万円となりました。主な内容は、現金及び預金が156百万円減少、受取手形及び売掛金が4百万円、電子記録債権が28百万円、たな卸資産が84百万円、有形固定資産が26百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

前事業年度末に比べ、131百万円減少し1,434百万円となりました。主な内容は、買掛金が45百万円増加、1年内返済予定の長期借入金が176百万円、未払法人税等が2百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

前事業年度末に比べ、112百万円増加し205百万円となりました。主な内容は、四半期純利益の計上により利益剰余金が112百万円増加したことによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は前事業年度末の5.6%から12.5%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末と比べ156百万円減少し、169百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、98百万円(前年同期は20百万円の使用)となりました。これは主に、増加要因として、税引前四半期純利益113百万円、減価償却費50百万円及び仕入債務の増加額45百万円、減少要因として売上債権の増加額32百万円及びたな卸資産の増加額84百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、77百万円(前年同期は6百万円の獲得)となりました。これは有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出77百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、178百万円(前年同期は196百万円の使用)となりました。これは長期借入金の返済による支出176百万円等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年 8 月期通期業績予想につきましては、平成26年 2 月27日及び平成26年 3 月28日の「業績予想の修正に関するお知らせ」にて平成25年 8 月期決算発表時に公表した業績予想を修正しております。

売上高は、FPD分野では厳しい市場環境が続きながらも半導体分野において受注が好調に推移していることと、その他分野において光学関連の新規案件の受注が順調に拡大していることから増額修正いたしました。損益面は、販売分野の変化と受注拡大に応じた協力企業の活用などにより利益率の変化がありますが、売上高が増加したことと第 2 四半期累計期間に受注損失引当金の戻し入れが発生したこと等から、営業利益、経常利益および四半期純利益ともに期首予想を上回る見込みとなりました。なお、期首の見込み通りではありますが「ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援補助金」により特別利益が10百万円発生しております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年 8 月31日)	当第 2 四半期会計期間 (平成26年 2 月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	326,805	169,924
受取手形及び売掛金	283,174	287,338
電子記録債権	87,237	115,663
商品及び製品	6,903	10,555
仕掛品	33,056	107,457
原材料及び貯蔵品	446	6,823
その他	10,412	4,752
貸倒引当金	△943	△1,028
流動資産合計	747,093	701,486
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	297,209	288,696
構築物(純額)	6,414	5,370
機械及び装置(純額)	230,667	304,557
車両運搬具(純額)	2,948	2,509
工具、器具及び備品(純額)	3,032	2,975
土地	289,783	289,783
リース資産(純額)	800	—
建設仮勘定	67,692	30,747
有形固定資産合計	898,548	924,640
無形固定資産	6,060	6,387
投資その他の資産	8,570	8,403
固定資産合計	913,179	939,430
資産合計	1,660,273	1,640,917
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,747	66,542
1年内返済予定の長期借入金	176,802	—
未払法人税等	5,283	2,976
受注損失引当金	1,500	2,600
その他	56,700	57,547
流動負債合計	261,033	129,667
固定負債		
長期借入金	1,303,458	1,303,458
資産除去債務	1,598	1,606
その他	600	266
固定負債合計	1,305,657	1,305,330
負債合計	1,566,691	1,434,998
純資産の部		
株主資本		
資本金	133,000	133,000
資本剰余金	123,000	123,000
利益剰余金	△162,417	△50,080
株主資本合計	93,582	205,919
純資産合計	93,582	205,919
負債純資産合計	1,660,273	1,640,917

(2) 四半期損益計算書
(第 2 四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第 2 四半期累計期間 (自 平成24年 9 月 1 日 至 平成25年 2 月 28 日)	当第 2 四半期累計期間 (自 平成25年 9 月 1 日 至 平成26年 2 月 28 日)
売上高	584,864	701,970
売上原価	410,220	500,536
売上総利益	174,643	201,434
販売費及び一般管理費	94,189	91,508
営業利益	80,453	109,926
営業外収益		
受取利息	34	37
為替差益	16,015	1,514
その他	330	352
営業外収益合計	16,380	1,904
営業外費用		
支払利息	8,986	7,711
その他	305	143
営業外費用合計	9,291	7,854
経常利益	87,542	103,976
特別利益		
補助金収入	—	10,000
特別利益合計	—	10,000
特別損失		
固定資産除却損	35	5
特別損失合計	35	5
税引前四半期純利益	87,507	113,970
法人税、住民税及び事業税	1,633	1,633
法人税等合計	1,633	1,633
四半期純利益	85,873	112,336

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第 2 四半期累計期間 (自 平成24年 9 月 1 日 至 平成25年 2 月 28 日)	当第 2 四半期累計期間 (自 平成25年 9 月 1 日 至 平成26年 2 月 28 日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	87,507	113,970
減価償却費	57,496	50,034
有形固定資産除却損	35	5
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	3,597	62
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	300	1,100
受取利息及び受取配当金	△34	△37
支払利息	8,986	7,711
為替差損益 (△は益)	△13,619	△819
売上債権の増減額 (△は増加)	△150,712	△32,589
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△26,492	△84,429
仕入債務の増減額 (△は減少)	12,198	45,795
未収消費税等の増減額 (△は増加)	—	△76
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△4,786	△1,104
その他	16,383	10,484
小計	△9,140	110,104
利息及び配当金の受取額	35	37
利息の支払額	△8,794	△8,572
法人税等の還付額	6	9
法人税等の支払額	△2,924	△3,272
営業活動によるキャッシュ・フロー	△20,816	98,307
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△8,505	△76,493
無形固定資産の取得による支出	△6,804	△1,425
従業員に対する貸付金の回収による収入	203	—
長期貸付金の回収による収入	—	22
差入保証金の回収による収入	21,500	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	6,393	△77,895
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△194,009	△176,802
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△2,987	△1,310
財務活動によるキャッシュ・フロー	△196,996	△178,112
現金及び現金同等物に係る換算差額	13,619	819
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△197,800	△156,881
現金及び現金同等物の期首残高	384,011	326,805
現金及び現金同等物の四半期末残高	186,210	169,924

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期累計期間(自平成24年9月1日 至 平成25年2月28日)及び当第2四半期累計期間(自平成25年9月1日 至 平成26年2月28日)

当社は、精密切削加工事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。